

09

Vol.42

第17期

2026年

在住協通信



一般社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

Interview File no. 19

会員インタビュー

有限会社小野寺機工

代表取締役

小野寺 大裕 さん

今月号の見出し

- ・会員インタビュー
- ・自然災害により被災された
中小企業・小規模事業者への
支援情報
- ・担い手確保に活用できる自治体
の補助制度が更新されました
- ・新規会員のご紹介
- ・在住協事務局便り
- ・お知らせ
東海・北陸エリア会員集会
in名古屋 参加募集



在住協通信のナビゲーター

Zaiju Kyoko's
Pickup!

未来の人材のために

小野寺さんは、従業員の自主性を尊重した経営を続ける一方、新人育成にも自ら現場に立って取り組んでいます。

また、茨城県の小学校と連携し、キャリア教育にも尽力。昨年初めて体験授業を実施した小学校の子どもたちが、近隣で小野寺さんの紫色のクレーンを見かけると、笑顔で手を振ってくれるようになったそうです。「こういう仕事があることを、少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです」と小野寺さんは語ります。



龍ヶ崎小学校 松谷校長、篠塚支部長、
花岡と今回の体験授業について打合せ

(2026/8/7 撮影)

クレーンの先に、技と心遣いを届け続けた30年

人生を変えた社長との出会い

小野寺さんが建設業の世界に入ったのは17歳の頃。友人の紹介で鳶職を始め、そこで当時29歳の社長と出会います。挨拶から仕事の姿勢まで全てに対して厳しく、誰に対しても本気で叱り、仕事が終われば心から労い、ベンツに乗って遊びに連れ出してくれる。そんな姿に「この人みたいな社長になりたい」と強く思ったそうです。同時に、現場で大きなクレーンを目にするうちに、いつかクレーンで独立しようと決意。確かな目標ができ、生活のリズムも変わっていきます。19歳で送電線の鉄塔を建てる鳶職へ転じ、全国各地の現場を巡る飯場暮らしも経験。高さ140メートルにも及ぶ鉄塔で働きながら、独立資金を蓄えました。

腕を磨き続けた日々

「鳶職を経験したからこそ職人さんが何を求めているか想像できます」と、小野寺さん。荷を揺らさず止める方法を独学で研究し、上手い操作を見かけるたびに、何時間でも立ち止まり観察しました。過去には二度、「空気が止まり、全てがスローになる」ようなゾーンを体験したそう。また、技術に加え、一緒に作業する人の動きを先読みする心遣いを何よりも大切に、「来てくれて助かったよ」の一言が何よりも嬉しいそうです。

24歳でクレーン一台からの独立

鳶の仕事の傍ら、19歳で取得したクレーン免許を生かし、できる仕事は何でも請けて、独自に技術を磨き続けました。

それから1997年に「小野寺機工」として独立。840万円の中古ラフタークレーンを購入し、本格的に事業を始めます。初月の仕事はわずか2日。空いた日は別の仕事をしながら同業者へ挨拶に回り、徐々に受注を増やしました。当時は依頼が入る度に、飛び上がってガッツポーズするほど嬉しかったそうです。そうして、一つ一つの実績を積み重ね、数年後にはクレーン業で生計を立てられるようになり、2003年に法人化。約30年にわたり人員と台数を拡大しながら事業を育て、現在に至ります。

おすすめの愛用道具



特注ライトパープルカラーのクレーン車

自然災害により被災された中小企業・小規模事業者への支援情報

地震や大雨などの自然災害により被災された中小企業・小規模事業者を対象に、国や関係機関ではさまざまな支援を行っています。

独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）のホームページでは、災害ごとに支援情報がまとめられており、特別相談窓口の設置や災害時の貸付制度などについて確認することができます。

災害による被害を受けられた会員の皆様、またお取引先などでお困りの方がいらっしゃいましたら、事業の復旧・再開に向けた情報収集の一つとして、ぜひご活用ください。

※支援内容や対象地域等は災害によって異なります。

最新情報は下記の中小機構ホームページをご確認ください。



中小機構「災害対策支援サイト」▶



中小企業の価値を、
日本の原動力に。

※クリックするとサイトへリンクします



担い手確保に活用できる自治体の補助制度が更新されました

国土交通省の情報ポータルサイト「大工を育てるNET」では、担い手確保に関する自治体の補助制度を検索できます。

このたび、掲載情報が令和8年度版に更新されました。

大工だけでなく、建設業に関わるさまざまな人材確保・育成に活用できる情報も掲載されています。

ぜひ一度、自社の地域で利用できる制度をご確認ください。

▼大工を育てるNET
支援サイトはこちら



都道府県を選択し、地方公共団体における雇用、
資格取得に関する支援制度を検索できます

都道府県を選択



情報ポータルサイト
大工を育てるNET



※クリックするとサイトへリンクします

在住協事務局便り シンポジウムに参加（梅村）

2050年の建築分野を考える連続シンポジウムに参加してきました。

新設住宅着工戸数の増加から既存ストックを活用する時代へと変化する中、そして、深刻化する担い手不足への対応が迫られる中、働く人の「AI・技術能力」の教育を行い、いかにしてDXを活用していくかが課題だと理解しました。



2050年を見据えた講演に耳を傾ける梅村
(2026/8/3 撮影)

We are members!



新規会員のご紹介

ケイミュー株式会社（東京都）
シーシーアイ住設建材株式会社（岐阜県）
ニチハ株式会社（東京都）
前澤化成工業株式会社（東京都）

新規入会の皆様
末永くよろしくお願い致します

お知らせ

東海・北陸エリア会員集会 in名古屋 参加募集

会員の皆さまはどなたでもご参加いただけます。お近くの方は、この機会にぜひお集まりください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時 10月15日（木）

プログラム 13時半開場、受付開始

【第一部】14:00-15:40 ホール3A

- ・在住協のご紹介
- ・グループ討議

【第二部】16:00-17:30 ホール3C

- ・玉木理事長ご挨拶
- ・感謝状贈呈
- ・会員交流会（会費制）

※会員交流会は、原則として事前申込制（会費：5,000円/人）です

場所

TKPガーデンシティ
PREMIUM名古屋駅前
愛知県名古屋市西区名駅1丁目1-17
ダイヤメイテツビル 3階



お申込は
こちらより
お願いします



発行元：一般社団法人 日本在来工法住宅協会



2026年9月吉日発行

〒108-0074
東京都港区高輪2丁目14番18号 グレイス高輪207
TEL：03-6408-0285 FAX：03-6408-0286
e-mail：zairai@jtha.jp HP：https://jtha.jp/

FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラー版メール配信をご希望の方は、貴社名・ご担当者名・メールアドレスを記載のうえ、zairai@jtha.jpまでご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名・FAX番号・「配信停止希望」を明記のうえ、ご連絡ください。なお、反映までに時間がかかる場合があります。